# 採 摭 餘 錄 (其十一)

### 久 內 清 孝

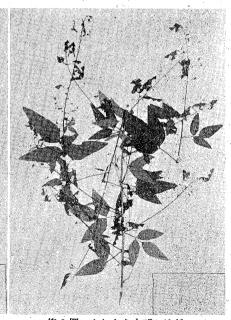
K. HISAUTI: Botanical Notes (XI).

#### 〇北米ヨリ潜入ノぬすびとはぎ

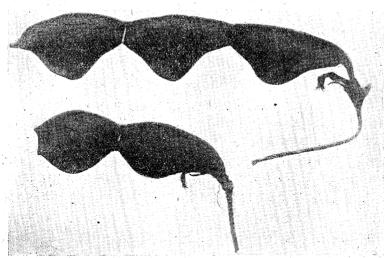
昨年ノ秋ニ大阪ノ吉野善介氏カラ敷枚ノ腊葉ヲ受取ツタ。其内2種ハぬすびとはぎ屬ノモノデ其一ハあれちぬすびとはぎ(圖2,3ノ上,4ノ左)、其二ハひめぬすびとはぎ(圖1,3ノ下,4ノ右)ト夫々吉野氏ニョリ命名サレタモノデ、共ニ外來品デ、既ニ近畿地方ニ馴化シタモノラシク、前者ハ河內國古市ニ於テ昭和15年10月13日ニ、後者ハ同年10月29日播津國茨木ニ於テ、共ニ吉野氏ニョリ採集サレタモノデアル。マタ、前者ハ本年2月東京科學博物館ノ主催ニョリ行ハレタ腊葉展覽會ニ、大橋忠太郎氏ガ近江國大津東浦デ同年9月14日ニ採集サレタモノガ出品サレテ居タ。何レモ我國デハ未知ノモノデ、米國カラ潜



第1圖 ひめぬすびとはぎ



第2圖 あれちぬすびとはぎ

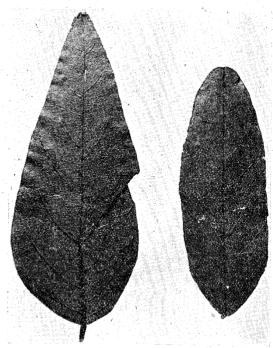


第3圖 あれちぬすびとはぎ(上)\*ト ひめぬすびとはぎ(下) ×約3.5

入シタモノト推定スル。ト 云フノハ、此ノ仲間ハ北米 ニ澤山ノ種類ガアリ、且之 等ガ北米ノモノニ該當スル カラデアル。之等ノ學名ヲ 斷定スルニ當リ、最近米國 ヨリ歸ラレタ原寛博士トモ 相談ハシテ見タガ、玆ニハ 余一人ノ責任デ次ノ如ク斷 定シテオク。

> あれちぬすびとはぎ = Desmodium Dillenii DAHLST.

ひめぬすびとはぎ =D. rigida DC. 此決定ヲナスニ當リテハ BRITTON & BROWN ノ北米 植物志及ビ GRAY ノ北米 植物志ニヨリ、特ニ前者ノ



第 4 圖 あれちぬすびとはぎ(左)ト ひめぬすびとはぎ(右)ノ小葉片 ×約1.5

場合ニハ科學博物館所藏ノ標本トモ引合セタ。然シナガラ、米國デ Tick-trefsil ト總稱サレテ居ル此ノ一群ハ、種類ガ多ク、從ツテ面倒デアル計リデナク、原氏ノ言ニ依レバ現ニ米國デハ、専門家が専門的ニ再檢討中ノモノ、由デアルカラ、余ノ決定ガ果シテ當ヲ得テ居ルカドウカ甚が疑ハシイガ、一先ヅ余一人ノ責任デ上記ノ如ク決定シテオイク次第デアル。

## 雜 錄 Miscellaneous

### **Oうすばあかざ、**おほばあかざ (原 寛)

昭和12年/夏、北海道北見上藻琴ノ路傍=見馴レヌあかざノ1種が生エテキタノデ、早速採集シテ歸京後調ベタ所、既=朝鮮満洲カラハ記錄サレテキルらすばあかざ(Chenopodium hybridum L.)デアル事が分ツタが、恐ラク近年牧草=デモ交ツテ移入サレタモノデアラウト思ツテ、ソノママニシテ居タ。處が最近東京科學博物館ノ標本ヲ見テキル内、コノモノが既=明治42年武田久吉氏ニョツテ石狩山ノ鼻デ採集サレ、Ch. Bonus-Henricus L. ト呼バレテキタ事ヲ知ツタノデココニ記錄シテオク事ニシタ。元來日本植物總覽ニハ第一版以來 Ch. Bonus-Henricus L. が歸化品トシテ載ツテキルが、東大ニハ標本ナク、ドノ地方=歸化シテ居ルカ疑問=思ツテキタが、コレハ多分科學博物館所藏ノ上記標本=基イテ、根本氏が加へタモノト思ハレル。

らすばあかざハ葉ガ卵狀三角形ヲナシ、極メテ粗大ナ不齊菌ガアリ、基部ハ徴形又ハ稍心 臓形デ、細長イ葉柄ヲ有スルノデ著シイガ、種子モ比較的大キク(徑 1.5-2 mm)表面ガ細 カク網目狀ニ四ンデキル點デ他種ト容易ニ區別デキル。 花序ハ莖頂ニデテ幅廣ク擴散スル ノガ普通デアルガ、北見産デハ稍穂狀ヲナシ f. spicatum BECK ノ形デアツタ。多分北海 道デハ處々ニ見ラレルモノデアラウ。 眞ノ Ch. Bonus-Henricus L. ガ我國ニハイツテキル カドウカ私ハ未ダ標本ヲ見タ事ガナイ。

Chenopodium hybridum L., Sp. Pl. ed. 1, 219 (1753).

Ch. Bonus-Henricus (non L.) sensu Makino et Nemoto, Fl. Jap. 1028 (1925); ed. 2, 271 (1931); Nemoto, Fl. Jap. Suppl. 184 (1936).

Nom. Jap. Usuba-akaza, Ōba-akaza.

Hab. Hokkaido prov. Isikari: Yamano-hana (H. Takeda, Sep. 29, 1909, no. 29226 in Mus. Sc. Tokyo). prov. Kitami: Kami-mokoto (H. Hara, Jul. 22, 1937).

(H. HARA)